

ホタテガイ養殖管理情報

水温は平年よりかなり高い状況です
水温の低い下層に施設を沈めたまま動かさないでください

1 海況

海況自動観測ブイの15m層の半旬別平均水温の推移は図1、8月18日時点の陸奥湾中層（10～15m層）の日平均水温は図4（次ページ）のとおりで、平年よりかなり高め水温となっています。

2 養殖施設の管理について

新貝と成貝は、20℃で成長が鈍り、以降は中腸腺（ウロ）や貝柱のエネルギーを使い生命を維持しますが、24～25℃で成長が止まり、衰弱し始め、26℃ではへい死の危険性が高まり、27℃以上になると、鰓による呼吸ができなくなり、急死します（図2、3）。

稚貝は、水温が23℃を超えると成長は鈍り、24～25℃になると新貝・成貝と同様の経過をたどってへい死に至ります。

	～19℃	20℃	21℃	22℃	23℃	24℃	25℃	26℃	27℃～
稚貝					成長鈍化	成長停止衰弱		危険	急死
新貝 成貝		成長鈍化				成長停止衰弱		危険	急死

図2 稚貝、新貝および成貝の成長と生残率に与える水温の影響

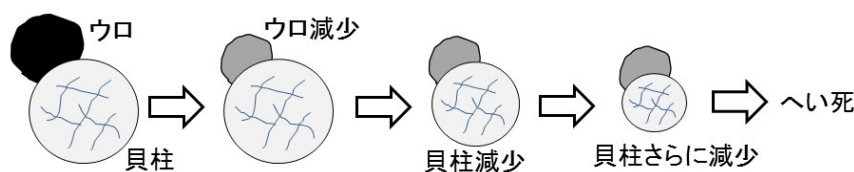


図3 高水温が続いた場合のホタテガイのへい死メカニズム

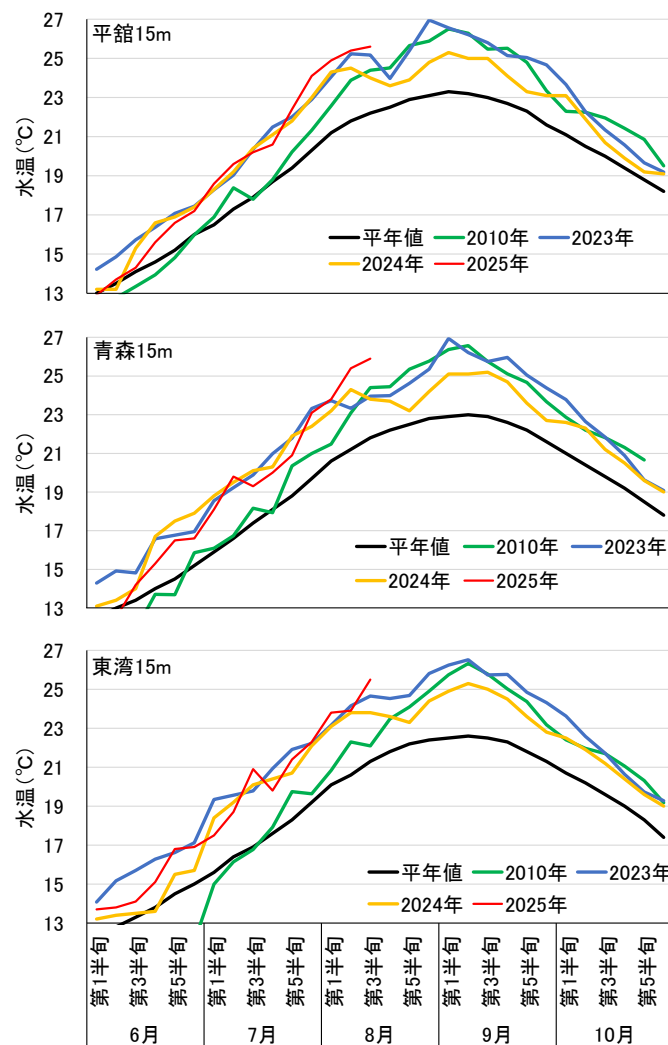


図1 海況自動観測ブイでの15m層の半旬別平均水温の推移
※暫定値を含む

今夏の水温は、高水温年であった一昨年と同様の推移となっており、中層では平年よりもかなり早い7月上旬で20℃に達し、平年と比べかなり高めからはなはだ高めで推移していました（陸奥湾海況情報No.1555～1560）。8月以降の水温も上昇し続け、すべての地点の中層で26℃に達しています（図4）。高水温でホタテガイが疲弊した状態で施設の上げ下げを行うと、へい死率や異常貝率が高まる傾向がありますので、施設を水温の低い下層に沈めたまま動かさないでください。体力の消耗を抑えるために、玉付け、掃除、へい死確認などの作業は行わないでください。

水温の状況や今後の動向は、陸奥湾海況情報や海ナビ@あおもり（下記URL、QRコード②）を参考にしてください。

3 お知らせ

8月下旬から9月上旬にかけて、平館・青森・東湾ブイでは更新作業を行うため、観測データの提供が止まります。この期間は、他の水温観測ブイを参考にしてください。



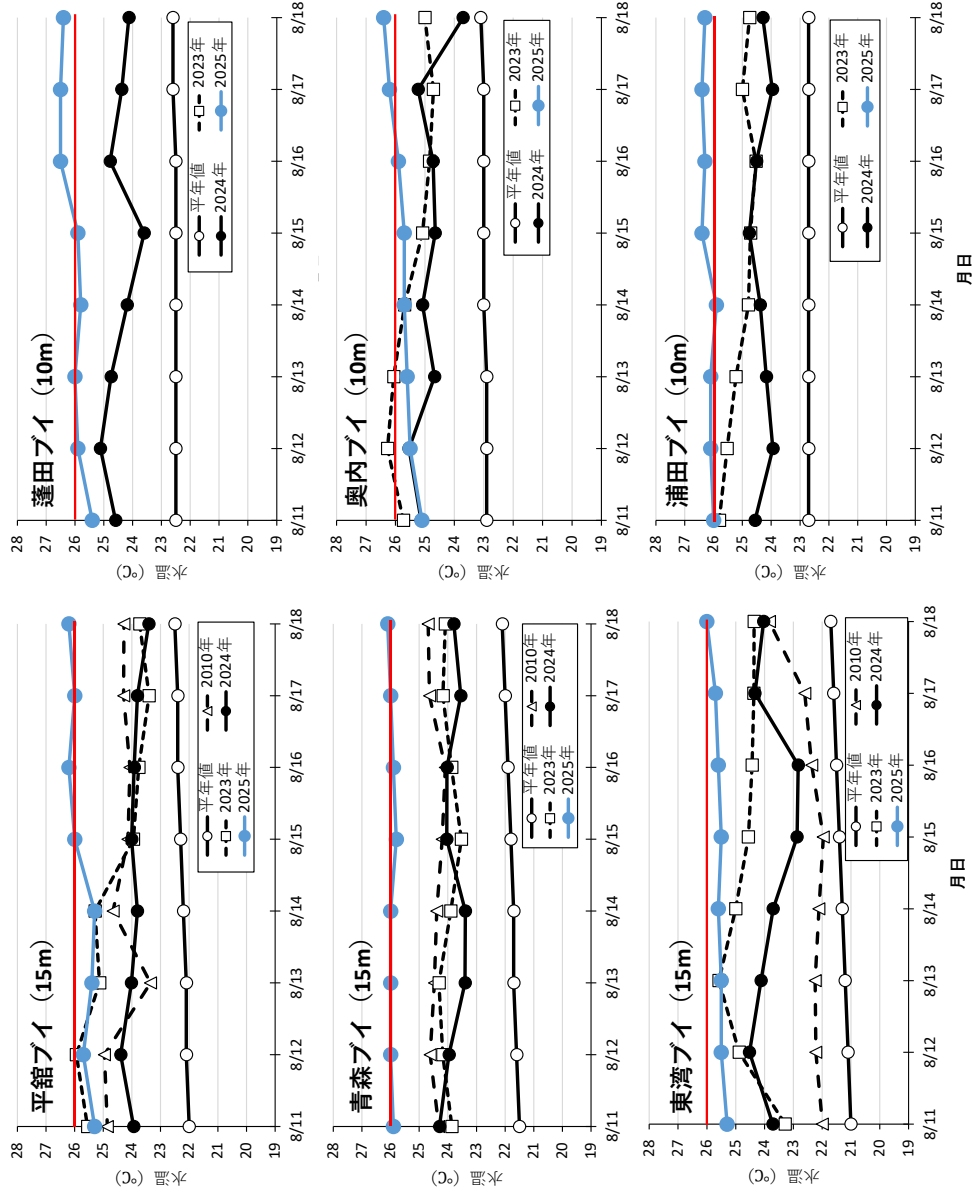


図4 海況自動観測ブイ・水温観測ブイでの中層(10~15m層)の日平均水温